

表 令和8年2月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

| 火山名 | 特別警報、警報及び予報の状況 | 発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等 | | 概要 |
|--------------------------|---------------------------------|----------------------------|---|--|
| 桜島 | 火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制) | 解説情報 第10～17号 | 2日、6日、9日 16時00分 | 南岳山頂火口で噴火活動継続。噴火、噴煙、火映の状況。爆発なし。 昭和火口では噴火及び火映はない。 火山性地震は概ね少ない。火山性微動は断続的。 火山ガス(二酸化硫黄)放出量は1400～2200[t/日](2/2, 19)で概ね多い。9日に上空から観測(陸上自衛隊協力)、両火口内に地熱域を確認。 GNSS観測で、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)を挟む基線で地下深部の膨張を示す長期の緩やかな伸びがみられる。 始良カルデラ深部にマグマが蓄積した状態、火山ガスも概ね多いことから、今後も噴火活動が継続すると考えられ、今後の火山情報に注意。 |
| | | | 13日 16時10分 | |
| | | | 16日、20日、23日、27日 16時00分 | |
| | | 降灰予報(速報) | 25日 15時04分 | 噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。 |
| | | 降灰予報(詳細) | 25日 15時14分 | 噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。 |
| 雌阿寒岳 | 火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制) | 解説情報 第6～9号 | 6日、13日、20日、27日 16時00分 | ボンマチネシリ96-1火口の噴煙は引き続き活発な状態。18日の現地調査で火山ガス(二酸化硫黄)放出量は300[t/日]、9月以降同程度で継続していると考えられる。 27日に振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が発生し(2025年9月12日以来)、ごくわずかな傾斜変動を観測。噴煙は悪天候のため確認できていない。 9月12日の火山性微動以降、火口方向が上がる傾斜変動が観測され、北方向上がりは2月上旬から鈍化がみられるが火口浅部の膨張した状態は継続。ボンマチネシリ火口付近の火山性地震は、12月以降概ね少ない中で増減を繰り返し推移している。 |
| 岩手山 | 火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制) | 解説情報 第6～9号 | 6日、13日、20日、27日 16時00分 | 黒倉山付近の微小な火山性地震は少ない。 2024年2月以降、東岩手山のやや深部の開口割れ目や山体西側のやや深部の膨張を示す地殻変動が観測され、2025年10月頃からの開口割れ目の膨張を示すと考えられる変動は1月から鈍化もしくは停滞。また、2024年8月頃からの大地獄谷付近ごく浅部の膨張の地殻変動は継続の可能性がある。 20日に上空から観測し(陸上自衛隊協力)、噴気や地熱域に特段の変化はない。 引き続き、西岩手山(大地獄谷・黒倉山から姥倉山)の想定火口から概ね2km範囲に影響する噴火の可能性がある。 |
| 草津白根山 (白根山(湯釜 付近)) | 火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制) | 解説情報 第14～32号 | 2日、4日、6日、9日、11日、13日、16日、17～20日、23～28日 16時00分 | 火山性地震は日回数が0～3回で継続、14日から増加し多い状態。14日にわずかな傾斜変動を観測。 地下浅部の膨張を示す緩やかな地殻変動や地下の温度上昇を示唆する全磁力の変化は、鈍化しながらも継続。また噴気の化学成分比には活発化を示す変化が継続。 火山活動が高まった状態が継続し、湯釜火口から概ね1km範囲に影響する噴火の可能性がある。 |
| 浅間山 | 火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制) | 解説情報 第10～17号 | 2日、6日、9日、13日、16日、20日、23日、27日 16時00分 | 火山性地震は、2024年4月中旬以降増加した状態から、2025年7月頃から減少傾向がみられる。山体西側での膨張と考えられる傾斜変動は2024年5月以降停滞。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は100[t/日](2/4, 10, 18, 24)、2023年3月以前に比べ多いが、2025年6月頃からやや減少。 山頂火口から概ね2km範囲に影響する噴火の可能性がある。 |

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

| 火山名 | 特別警報、警報及び予報の状況 | 発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等 | | 概要 |
|--------------|---------------------------------|----------------------------|--|---|
| 焼岳 | 火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制) | 解説情報 第9～20号 | 1日、2日、4日、6日、9日、11日、13日、16日、18日、20日、23日、27日 16時00分 | 1月25日から山頂付近の火山性地震が多い状態で推移したが、次第に減少(1日0～数回)。地震回数は少なくなっているが、過去の例から急に増加する可能性がある。山頂付近の噴煙に特段の変化はない。GNSS観測では山頂付近で緩やかな膨張を示す長期的な変化が継続。火山活動が高まっている。想定火口域から概ね1km範囲に影響する噴火の可能性がある。 |
| 霧島山 (新燃岳) | 火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制) | 解説情報 第6～9号 | 6日 16時00分 13日 16時10分 20日、27日 16時00分 | 9月8日以降噴火はない。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は200[t/日](13日)でやや少ない。火口直下の火山性地震は増減を繰り返す少ない。火山性微動はない。9日に上空から観測(陸上自衛隊協力)、火口及び西側斜面割れ目付近で地熱域を確認。GNSS観測で霧島山を挟む一部の基線で、2025年3月頃から深部の膨張を示すわずかな伸びが認められたが12月中旬頃から停滞。新燃岳付近の膨張を示すと考えられる基線の伸びは、7月以降は認められない。火山活動が高まった状態が継続。引き続き噴火の可能性がある。 |
| 薩摩硫黄島 | 火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制) | 解説情報 第6～9号 | 6日、13日、20日、27日 16時00分 | 白色の噴煙と夜間に高感度カメラで火映を観測。10～13日の現地調査で硫黄岳の地熱域、最高温度に変化はない。火山性地震は少ない。長期的に熱活動や噴煙活動が高まった状態。火口周辺に影響する噴火の可能性あり。 |
| 諏訪之瀬島 | 火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制) | 解説情報 第6～9号 | 6日、13日、20日、27日 16時00分 | 御岳火口で噴火活動継続。噴火、爆発なし、噴煙、火映の状況。火口付近浅部の火山性地震は少ない。島の西側の地震は少ないが、中長期的には2024年10月頃から島の周辺で地震活動が高まっている。火山性微動は断続的に発生。GNSSで2024年10月以降みられた島の西側のマグマ蓄積量増加を示す変動は、11月頃から停滞。長期に噴火活動が継続し御岳火口周辺で大きな噴石飛散の可能性がある。 |
| | | 降灰予報(速報) | (今期間発表なし) | 噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。 |
| | | 降灰予報(詳細) | (今期間発表なし) | 噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。 |

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 雌阿寒岳、岩手山、草津白根山(白根山(湯釜付近))、浅間山、焼岳、霧島山(新燃岳)、桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。